

あれからどうなったんやあ〜 シリーズ 90

このシリーズは、過去の定例会（今回は平成27年12月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。

単位：円

	①補助額 (現行)	②増額分	③補助金額 (①+②)
5人槽	444,000	75,000	519,000
7人槽	486,000	221,000	707,000
10人槽	576,000	397,000	973,000
11～20人槽	1,092,000	397,000	1,489,000
21～30人槽	1,860,000	—	1,860,000
31～50人槽	2,496,000	—	2,496,000

※高度処理型合併浄化槽設置工事に伴う補助金は、国・県・町で賄われております。本年度、国の浄化槽補助金制度の改正が予定されており、今後、補助金の対象が一部変わることがあります。

答 県が構想の見直しを進めている。推進策については見直し状況を把握しながら検討していく。

問 水洗化率向上のため、高度処理型合併浄化槽の推進と補助金の増額は、

「高度処理型合併浄化槽の推進と補助金」

「うなりました」

町では、高度処理型合併浄化槽のさらなる促進を図るため、住宅に設置する場合の補助額を上乗せをするものとなりました。高度処理型合併浄化槽の普及は、生活排水による河川等への影響を緩和し、水環境改善に繋がります。合併浄化槽の普及に向けた啓発にも併せて取り組んでまいります。詳細については、広報「養老」や町ホームページ等でお知らせしておりますのでご確認ください。

議会に対しての意見

シリーズ 28

■ 住民の声 ■

このシリーズは、町内の各種団体の代表や副代表等の方へ、編集委員が意見をお聞きし、その記事を掲載するものです。



議論が十分にされているのか？ 議会そのものが必要なのか？ と考えてしまう。議論を尽くすことは、この養老の課題が何かを見出すことができるはずである。議会は課題の論点や考えの幅を共有することで、住民の意見を反映させる。議会が変わらなければ、自治体も変わらない。議会が本来あるべき役割を果たすことを願う。

（町内在住 Y・Oさん）
「地方議会不要論」なるものを聞いたことがある。行政と議会、すなわち行政の執行機関である行政と意思決定機関である議会と住民から託されているものが異なっている。住民はそれぞれの代表として、行政に1人、議会に複数の代表を選出する。これは2つの意思が存在するという事であり、それぞれに微妙なズレが生じて当然である。このズレこそが二元代表制の優れた部分であり、健全な緊張感である。職業議員、議案が常に全会一致で可決。

「議員と話そう」アンケート結果

（平成30年11月10日、11日 「養老フェスタ2018」にて実施）

Q. 議員に期待することは何ですか。

- ・しっかり議員として仕事ができること。
- ・町民の意見を反映することができる人が良い。
- ・町をより良くしてもらうこと。
- ・私利私欲にとらわれず毎日が議会活動と思い、行動して下さい。
- ・議員活動に専念してほしい。
- ・議員の質を上げよ！
- ・行政の問題点を町民にも共有の問題とする。

Q. 現在の町政に不満はありますか。

- ・人口減少対策。
- ・インフラ整備。
- ・施策に対し、十分な住民説明が必要ではないか。
- ・職員の資質を向上させてほしい。
- ・不透明なことが多い。
- ・税金の使い道をしめす。

Q. その他ご意見等がありましたら教えてください。

- ・1300万円（斎苑問題）はどうなったのか。
- ・旧養老女子商業高校の再利用の検討。
- ・消防団訓練への負担が多い。本番に結びつくか疑問。災害に協力できる施策。（地域の理解、職場の理解）
- ・災害対策をしっかりと。
- ・各種団体の行事に関して、代表者の負担が大きすぎる。
- ・役場職員の対応が良くない。
- ・町独自のブランド商品等開発が必要。（特長を出して）

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。この他にも議会に対してのご意見を多数頂いておりましたが、紙面の都合上、割愛させていただきました。なお、頂いたご意見は、議員全員の共通課題として取り組み、今後も皆様からの負託に応えようよう尽力してまいります。

議会改革特別委員会